



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社マースグループホールディングス
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-ghd.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 2020年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-----|-------|------|-------|------|------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2020年3月期第3四半期 | 17,260 | 6.7 | 3,014 | 18.6 | 3,370 | 15.5 | 1,830 | 10.8 |
| 2019年3月期第3四半期 | 18,501 | 1.3 | 3,701 | 36.1 | 3,986 | 35.9 | 1,652 | 13.7 |

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 2,497百万円 (137.4%) 2019年3月期第3四半期 1,051百万円 (38.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 109.62 | |
| 2019年3月期第3四半期 | 98.97 | |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2020年3月期第3四半期 | 60,104 | 52,365 | 87.1 | 3,135.69 |
| 2019年3月期 | 59,220 | 51,204 | 86.5 | 3,066.15 |

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 52,365百万円 2019年3月期 51,204百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2019年3月期 | | 45.00 | | 35.00 | 80.00 |
| 2020年3月期 | | 45.00 | | | |
| 2020年3月期(予想) | | | | 35.00 | 80.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 25,000 | 2.7 | 4,500 | 4.1 | 5,100 | 0.1 | 2,800 | 155.9 | 167.66 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|------------|--------------|------------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2020年3月期3Q | 22,720,000 株 | 2019年3月期 | 22,720,000 株 |
| 期末自己株式数 | 2020年3月期3Q | 6,020,024 株 | 2019年3月期 | 6,019,964 株 |
| 期中平均株式数(四半期累計) | 2020年3月期3Q | 16,699,976 株 | 2019年3月期3Q | 16,700,036 株 |

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税増税による影響で一時的に落ち込んだものの、設備投資や個人消費は底堅く、緩やかな回復基調で推移しました。その一方で、世界経済においては米中貿易摩擦問題の長期化や東アジア・中東地域における地政学リスクの高まり等、景気の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは持株会社体制へ移行し、各事業会社の役割や責任を明確に定め、意思決定の迅速化や機動的な事業運営を強力に推し進めてまいりました。また、変化する市場環境に柔軟に対応するため、アミューズメント関連事業を中核事業として自動認識システム関連事業、ホテル関連事業と事業の多角化を推し進めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高172億60百万円(前年同四半期比6.7%減)、営業利益30億14百万円(同18.6%減)、経常利益33億70百万円(同15.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益18億30百万円(同10.8%増)となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、特定複合観光施設区域整備法(IR実施法)の施行に伴うのめり込み防止の対応や規則改正等に対応した遊技機への入れ替え、改正健康増進法施行による受動喫煙対策等の問題を抱えており、当業界を取り巻くホールの経営環境は依然として厳しい状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、少人数でホール運営が可能なパーソナルPCシステム及び新式パーソナルPCシステム「マースユニコン」を中心にトータルシステムでの提案・販売を行ってまいりました。パーソナルPCシステムは、パチンコホールが抱える人手不足や人件費の高騰等の経営課題を改善するシステムで潜在的な需要は見込まれるものの、周辺設備の買い控え傾向が強まっており、販売は限定的となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は43店舗、当第3四半期連結累計期間末時点における導入(実稼働)店舗数は累計1,630店舗(市場シェア20.3%)となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は46店舗、導入(実稼働)店舗数は累計1,841店舗(市場シェア23.0%)となりました。

空気の流れで紙幣を搬送する業界随一のAir紙幣搬送システムは、順調に導入件数を伸ばし、累計950店舗を超えました。また、ハイスpekモデルの立体Air紙幣搬送システムは、技術力の高さやホール業務の改善効果等が市場で高く評価され、大型案件や他社ユーザーの獲得につながりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、109億91百万円(前年同四半期比14.4%減)、セグメント利益は26億92百万円(同18.7%減)となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、世界的に電気自動車向けリチウム電池の需要が拡大し、国内においては製造業や物流業を中心に自動化・省力化のニーズが高まっており、回復基調で推移しました。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを精査しながら自動的に取り込み・認識ができるため、様々なビジネスシーンでの活用が期待されております。当社グループではFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場等、広く新規市場への展開を目指し、提案販売活動を積極的に行ってまいりました。特に世界最高水準の高分解能(性能)を誇るX線源を搭載した「産業用X線検査装置」は、市場からの評価が高く、FA市場での導入が進みました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、45億72百万円(前年同四半期比10.3%増)、セグメント利益は5億63百万円(同14.5%増)となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、中国経済の減速や日韓の緊張の高まりによる観光客の減少が懸念されるものの、2019年の訪日外国人数は3,188万人(日本政府観光局発表、推計値)と最高記録を更新しており、観光需要は好調に推移しました。

季節要因による繁閑の差が大きいホテル運営におきましては、需要と供給の状況に応じて価格が変動するダイナミックプライシングを積極的に活用しました。「マースガーデンホテル博多」は、2019年4月1日から自社ブランドとして新たにスタートし、博多地区でトップクラスの稼働率を維持しました。静岡県御殿場市の「マースガーデンウッド御殿場」は、宿泊者向けのイベントを定期的に開催し、新規顧客やリピーターの獲得に努めました。

関連事業のレストランでは、「海鮮処 松月亭博多本店(マースガーデンホテル博多内)」及び「鉄板焼 銀明翠GINZA(東京銀座)」が、インバウンドの影響や認知度が高まるに連れて利用客が増加しました。また、前期から今期にかけて開店した「寿司 銀明翠博多(ホテル日航福岡内)」、「鉄板焼 銀明翠GINZA(新フロア)」、「海鮮処 松月亭博多中洲店」、「和匠 銀明翠GINZA(しゃぶしゃぶ、新フロア)」につきましても認知度の向上に伴い、利用客が増加しました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は16億97百万円(前年同四半期比12.1%増)、セグメント損失は56百万円(前年同四半期は55百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期連結会計期間末の総資産は601億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億84百万円増加いたしました。

流動資産は349億70百万円となり、前連結会計年度末と比較して16億19百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、現金及び預金が14億14百万円減少し217億85百万円となりました。

固定資産は251億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して25億3百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、土地が12億57百万円増加し66億92百万円、投資有価証券が7億94百万円増加し94億20百万円となりました。

流動負債は49億4百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億70百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が6億48百万円減少し2億円となりました。

固定負債は28億34百万円となり、前連結会計年度末と比較して2億93百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、リース債務が2億98百万円増加し9億6百万円となりました。

純資産は523億65百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億61百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、利益剰余金が4億94百万円増加し485億39百万円、その他有価証券評価差額金が6億44百万円増加し67百万円となりました。

自己資本比率は87.1%となり、前連結会計年度末と比較して0.6ポイント増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は217億85百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億14百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は28億75百万円の収入(前年同四半期は15億10百万円の収入)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益27億70百万円、営業貸付金の減少額11億81百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は29億84百万円の支出(前年同四半期は26億36百万円の支出)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出26億25百万円、投資有価証券の取得による支出5億31百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は13億5百万円の支出(前年同四半期は13億4百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額13億5百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|----------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 23,200,404 | 21,785,658 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,577,347 | 5,908,940 |
| リース債権及びリース投資資産 | 658,664 | 940,897 |
| 有価証券 | 349,895 | 349,895 |
| 商品及び製品 | 2,136,842 | 2,019,589 |
| 仕掛品 | 253,681 | 279,739 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,071,419 | 1,149,141 |
| その他 | 3,341,899 | 2,537,313 |
| 貸倒引当金 | △224 | △416 |
| 流動資産合計 | 36,589,930 | 34,970,759 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,082,593 | 5,984,744 |
| 土地 | 5,434,930 | 6,692,857 |
| その他(純額) | 522,948 | 595,846 |
| 有形固定資産合計 | 11,040,473 | 13,273,448 |
| 無形固定資産 | | |
| | 134,139 | 188,244 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 8,625,625 | 9,420,286 |
| その他 | 2,933,868 | 2,352,471 |
| 貸倒引当金 | △103,746 | △100,723 |
| 投資その他の資産合計 | 11,455,747 | 11,672,034 |
| 固定資産合計 | 22,630,359 | 25,133,726 |
| 資産合計 | 59,220,290 | 60,104,486 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,418,092 | 2,333,151 |
| リース債務 | 525,540 | 474,276 |
| 未払法人税等 | 849,060 | 200,714 |
| 賞与引当金 | 428,460 | 217,261 |
| その他 | 1,253,563 | 1,678,953 |
| 流動負債合計 | 5,474,718 | 4,904,357 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 607,932 | 906,679 |
| 役員退職慰労引当金 | 215,060 | 166,625 |
| 退職給付に係る負債 | 594,752 | 607,440 |
| 資産除去債務 | 44,807 | 51,267 |
| その他 | 1,078,170 | 1,102,168 |
| 固定負債合計 | 2,540,721 | 2,834,181 |
| 負債合計 | 8,015,439 | 7,738,538 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (2019年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,934,100 | 7,934,100 |
| 資本剰余金 | 8,371,830 | 8,371,830 |
| 利益剰余金 | 48,044,487 | 48,539,207 |
| 自己株式 | △12,315,252 | △12,315,383 |
| 株主資本合計 | 52,035,164 | 52,529,754 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △576,756 | 67,464 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △253,557 | △231,271 |
| その他の包括利益累計額合計 | △830,313 | △163,806 |
| 純資産合計 | 51,204,851 | 52,365,947 |
| 負債純資産合計 | 59,220,290 | 60,104,486 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 18,501,524 | 17,260,141 |
| 売上原価 | 8,971,989 | 8,187,018 |
| 売上総利益 | 9,529,534 | 9,073,122 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,827,753 | 6,058,539 |
| 営業利益 | 3,701,780 | 3,014,583 |
| 営業外収益 | | |
| 受取配当金 | 244,355 | 311,938 |
| その他 | 40,476 | 45,918 |
| 営業外収益合計 | 284,831 | 357,857 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | — | 2,189 |
| 営業外費用合計 | — | 2,189 |
| 経常利益 | 3,986,612 | 3,370,250 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 136,257 | 4,566 |
| 特別利益合計 | 136,257 | 4,566 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 113,897 | — |
| 投資有価証券評価損 | 465,417 | 570,793 |
| 役員退職慰労金 | 972,995 | 33,600 |
| 特別損失合計 | 1,552,310 | 604,393 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,570,559 | 2,770,423 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 814,487 | 827,765 |
| 法人税等調整額 | 103,262 | 111,937 |
| 法人税等合計 | 917,749 | 939,702 |
| 四半期純利益 | 1,652,809 | 1,830,720 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 1,652,809 | 1,830,720 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 1,652,809 | 1,830,720 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △622,926 | 644,220 |
| 退職給付に係る調整額 | 22,033 | 22,286 |
| その他の包括利益合計 | △600,893 | 666,506 |
| 四半期包括利益 | 1,051,916 | 2,497,227 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,051,916 | 2,497,227 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 2,570,559 | 2,770,423 |
| 減価償却費 | 412,773 | 375,998 |
| 減損損失 | 113,897 | — |
| 引当金の増減額(△は減少) | △778,258 | △262,465 |
| 退職給付に係る負債の増減額(△は減少) | 6,446 | 12,688 |
| 受取利息及び受取配当金 | △246,715 | △318,441 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △136,257 | △4,566 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | 465,417 | 570,793 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △1,449,182 | △331,592 |
| リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加) | 393,296 | △280,857 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 12,418 | 13,472 |
| 営業貸付金の増減額(△は増加) | 947,277 | 1,181,058 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 397,805 | △84,941 |
| リース債務の増減額(△は減少) | △423,698 | 247,483 |
| その他 | 270,210 | 342,510 |
| 小計 | 2,555,988 | 4,231,563 |
| 利息及び配当金の受取額 | 246,351 | 316,049 |
| 法人税等の支払額 | △1,291,603 | △1,671,884 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,510,737 | 2,875,728 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △190,302 | △2,625,992 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △2,627,129 | △531,658 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 538,122 | 6,948 |
| その他 | △357,666 | 166,525 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △2,636,975 | △2,984,177 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 自己株式の取得による支出 | — | △130 |
| 配当金の支払額 | △1,304,719 | △1,305,636 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △1,304,719 | △1,305,767 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 7,347 | △530 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △2,423,610 | △1,414,746 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 23,933,711 | 23,200,404 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 21,510,101 | 21,785,658 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | アミューズ メント 関連事業 | 自動認識 システム 関連事業 | ホテル 関連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 12,842,127 | 4,145,720 | 1,513,675 | 18,501,524 | — | 18,501,524 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 417,700 | 144,640 | 8,052 | 570,394 | △570,394 | — |
| 計 | 13,259,828 | 4,290,361 | 1,521,728 | 19,071,918 | △570,394 | 18,501,524 |
| セグメント 利益又は損失 (△) | 3,313,831 | 492,261 | △55,308 | 3,750,785 | △49,004 | 3,701,780 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△49,004千円には、セグメント間取引消去4,463千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△53,467千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|---------------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | アミューズ メント 関連事業 | 自動認識 システム 関連事業 | ホテル 関連事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 10,991,062 | 4,572,022 | 1,697,055 | 17,260,141 | — | 17,260,141 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 510,674 | 114,788 | 25,400 | 650,864 | △650,864 | — |
| 計 | 11,501,737 | 4,686,811 | 1,722,456 | 17,911,005 | △650,864 | 17,260,141 |
| セグメント 利益又は損失 (△) | 2,692,783 | 563,433 | △56,471 | 3,199,744 | △185,161 | 3,014,583 |

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△185,161千円には、セグメント間取引消去2,925千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△188,086千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2018年10月1日より、持株会社体制へ移行したことに伴い、各報告セグメントに配分していない全社費用等をセグメント利益の調整額として記載する方法に変更しております。